

技術ノート KGTN 2017030302

現象

[GGH5.X] 動的な画像を含むウェブページを表示するとブラウザの反応が極端に悪くなる。

説明

GG の通信プロトコル **Rapid-X** は、サーバーとクライアント間の送受信データを高い効率で圧縮/伸張するようになっています。通常のアプリケーションでは、この圧縮/伸張機能が上手く働き、多くのユーザー（セッション）が十分なパフォーマンスで動作することが出来ます。動的な画像を表示するウェブページでは大量のデータが送受信されますが、**Rapid-X** の下ではその大量のデータに対しても圧縮/伸張機能が働くため、CPU 負荷が高まるとともに、処理時間による遅延も発生します。このような場合、下記の設定を行うことでパフォーマンスがかなり向上します。また、色深度を 16 ビットにすることで、さらにパフォーマンスが向上します。

With the current product, the following configuration changes will provide the best performance for video:

Add the following registry values:

```
HKLM\SOFTWARE\GraphOn\GO-Global\AppServer\ClientOffscreenSurfaces = 0  
HKLM\SOFTWARE\GraphOn\GO-Global\AppServer\DisplayBufferMinDrainRate = 500 (decimal)  
HKLM\SOFTWARE\GraphOn\GO-Global\AppServer\DisplayBufferThreshold = 0x00010000
```

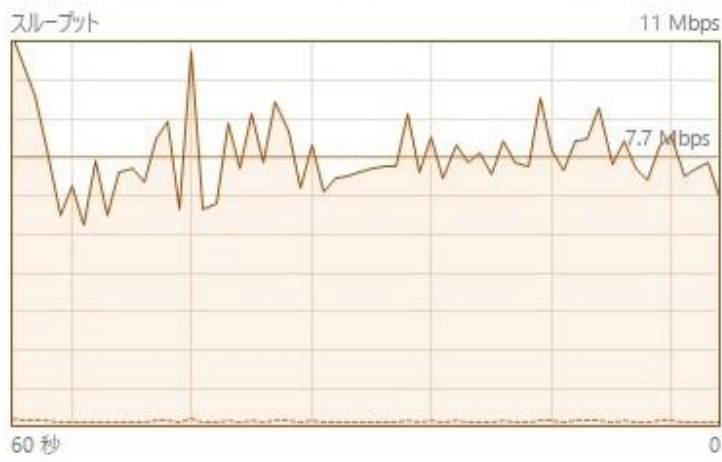
Make the following changes in the HostProperties.xml file:

```
ClientProcessingBatch = 1  
ClientProcessingThrottleV2 = 1
```

【未適用かつ色深度 32 ビット】



イーサネット Intel(R) 82567LM-3 Gigabit Net...



【適用済かつ色深度 32 ビット】



イーサネット Intel(R) 82567LM-3 Gigabit Net...

